

1. 投稿者は共著者も含み本研究会会員であること。
2. 論文は腎移植、血管外科ならびにこれに関連するもので、他誌未発表のものであり、原著、症例報告、総説とする。ただし、総説は編集委員会からの依頼に限る。

### 3. 投稿論文の構成

原稿は、論文原稿、図、表のファイルに分けてまとめる。記述の順序は、原著(Original article)、症例報告(Case report)の別、標題(Title)、所属(Affiliation)、著者名(Name)、英文題名、英文著者名、英文所属、Key Words (和、英ともに5以内)、和文抄録(300字以内)、英文抄録(250 Words以内)、本文、文献、図表(説明を含む)とする。英文原稿で投稿される場合は日本語での記載、和文抄録は必要ない。

本文は日本語または英語のいずれかで記載すること。

日本語の場合は現代かなづかい、当用漢字を用い、ひらがな混りの横書きとし、清書したものでなければならない。原稿はMS Word (2010年以降のVR) 文書とし、MS明朝体フォント12ポイントとすること。

原著論文6,400字以内、症例報告5,200字以内、図表一点につき、400字減とする。

英文原稿の場合、原著論文 4,000words以内、症例報告2,000words以内とする。

外国の人名地名などの固有名詞はなるべく原字を用い、最初の1字のみ大文字とする。また普通名詞は全部小文字とすること。なお日本語で書くときはカタカナとする。

数字はすべて算用数字を用い、略号は次のようにすること。3ヶ月、1 cm<sup>2</sup>、1 l、1 ml、1 g、1 mg/dl、37℃ など。

英語の場合はフォントとしてTimes New Roman,12を用い、ダブルスペースで記載する。英語論文は必ずnative speakerに校正してもらった後に投稿すること。

文献は本文中において引用のつど番号をうち、末尾に引用順に下記の書式にしたがって一括して記載すること。欧字は必ずタイプまたはプリントのこと。引用文献は20点以内にとどめること。

**雑誌の場合：**著者名(3名以内、以下、他)：題名,雑誌名,巻：最初および最終頁,発行年。

〔例〕 二瓶大, 穴戸清一郎, 青木裕次郎,他：下大静脈完全閉塞を合併した小児に対し移植腎を上下逆転させ生体腎移植を施行した1例, 腎移植・血管外科 24(2): 170 -175, 2012

〔例〕 Shell, G.D. and Stimpfling, J.H. : Histocompatibility genes of mice. Transplantation. 3: 235-252, 1961.

**単行本の場合：**著者名(3名以内、以下、他)：題名,編者名,書名,第何版,最初および最終頁,発行社,発行地,発行年。

〔例〕 穴戸清一郎:Ⅲ腎移植術 小児の腎移植.Urologic SurgeryシリーズNo.10腎移植と血管外科,第1版,41-49,メジカルビュー社,東京,2001.

〔例〕 Dausset, J., Ivanyi, P. and Ivanyi, D.: Tissue alloantigens in humans. Balner, H, Cleton, F.L. and Ernisse, J.G. eds. Histocompatibility Testing, Hunksgaard, Copenhagen, 1965.

原稿の長さは原則として本文、和文要旨、欧文抄録、文献、図表および写真等を含めて、下記を原則とする。

	刷上り ページ	原稿枚数 (含む文献)	白黒写真 図・表
原著論文	8	16	10
症例報告	5	13	5

図表は英文とし、Table 1、Fig. 2などと順番をつけ原稿欄外に挿入箇所を指示すること。説明文も英文として別紙にまとめる。

図はJPEGまたはPower Point (2010年以降のVR)にて作成し、そのまま印刷できる明瞭なものとする。写真原盤データは別途添付する。写真は万一の事故に備えて必ず控えておくこと。

#### 4. 原稿送付先

下記事務局アドレスまで。

#### 5. 問合せ先

〒143-8541 東京都大田区大森西6-11-1  
東邦大学医学部腎臓学講座／小児腎臓学講座内  
腎移植・血管外科研究会編集委員会  
電話：03-3762-4151  
FAX：03-5471-3056  
E-mail：rtvs@med.toho-u.ac.jp

(2016.5.26 改訂)